
朝倉ハオが直江大和に転生した。

朱雀

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

朝倉八才が直江大和に転生した。

【Nコード】

N8358P

【作者名】

朱雀

【あらすじ】

朝倉八才は、自分の双子の弟である葉に敗北されてしまった。

だが、神様によって再び蘇る事になった。だが、何処かの世界に吹き飛ばされ気が付くとそこは、見知らぬ世界だった

八才の転生姿

八才は葉を倒しこの世界をシャーマンだけの世界を作り出そうとしていた

だが

自分の弟にスピリットオブファイヤと真つ二つされ負けてしまった

しかし

八才の魂は完全に消えてはいなかった

八才の魂が

この世界を彷徨っていると謎の声が聞こえてきた

???「君は、もう一度蘇らないか?」と

八才「誰だ?何処にいる?」

???「私は神様だ。」

八才「神だと?その神様が僕に何のようだ?」

神「もう一度、蘇って見ないかと言ったんじゃない。」と言った

すると

八才「蘇りたい。僕は、もう一度蘇りたい。」

神「では、蘇らそう。じゃが、お主には違う世界に言ってもらうぞ。そしてその世界で自分の居場所を見つけるがいい。それと、スピリットオブファイヤは完全に失ってしまったから、ワシから新しい力をあげよう。」と

言って八才の体が光に包まれた。

神「八才よ、お主には直江大和という者に転生させるぞ。ではな。」
と言った後八才の姿が消えた

ハオの転生姿&新たな力紹介

直江大和

性別 男性

好物 カレーとパン

趣味 作曲

口癖 「ちっちええな」

服装 セーマン（五芒星）をシンボルとし、衣服にあしらっている。

頭脳 知力は円周率や大人が答えられない問題すら全て答えられる

力 川神四天王&川神鉄心を凌ぐほどの力を持っている

防御力 核ミサイル、エネルギー弾、ミサイルを直撃しても無傷で居られるほどの防御力である。

体 岳人よりも筋肉は無いが凄く綺麗な筋肉を持ち男性&女性がその姿を見たら惚れてしまうほどである

長所 頭も良く料理も出来て完璧な人間である

短所 圧倒的な力のせいで自分はいつも孤独感を持っている

武器 名刀「正宗」（普段は腰にしまっているが、抜くと葉のスピ

リットオブソードみたいに長くなる。長さは調整できる。そして、
いかなる武器でも折ることが可能。）

技

武器無しの状態

滅波動

打技黒掌

魔神菩薩連掌

武器ありの場合

飛連斬 特技

双連撃 特技

幻影刃 特技

月閃光 特技

千裂虚光閃 奥義 短剣で敵を打ち上げ、神速の5連突きを繰り出す

粉塵裂破衝 奥義

崩龍斬光剣 奥義

魔人千裂衝 秘奥義

浄破滅焼闇

翔破裂光閃

義憐聖霊斬

真神煉獄刹

この直江大和は朝倉八才が転生した姿である

そしてまじこいの世界で最強の力を持っている

ハオはまじこいの世界にいるユートピアを売っている者を容赦せず
ポコポコにする。

更に直江大和には妹が居る

その妹とは。

因みに大和は風間ファミリーには入っていない。

ハオは昔は仲間など必要せず自分だけ生きていけば良いと思っ
ていたが

榊原小雪や風間ファミリーの存在やドラゴン達のお陰でどんどんと
仲間の大切さという物が判ってきた

妹紹介

直江小雪

性別 女性

好物 マシヨマロ

趣味 空を見ること

兄である大和を心から愛している

何故かと言うと兄に会うまでは自分は直江ではなく榊原という名前だった

しかし自分の母親に虐待されており食事も与えられずこのままでは餓死してしまう時救いのヒーローが現れた

それが兄である大和であった

大和は榊原小雪を助けようとしたが小雪の母が自分を殺そうとしてきたので正当防衛で母親を殺した

それを見た小雪は大和に憎しみではなく嬉しさがあった

母が居なくなつた事で自分は虐待されずに済むと思った。

小雪は大和に一目惚れしてしまい妹にしてと頼んだ。

これで榊原ではなく直江小雪になった

そして小雪は風間ファミリーの一員となった

直江大和（朝倉八才）の新たな力

スピリットオブファイヤを葉によって切られてしまい力を失ったが神様によって新たな力を手に入れた

その力は前回よりも数倍アップした

神様がハオにあげた力はドラゴンであった

しかも喋る事も出来る

ドラゴン系

オシリスの天空竜

攻撃力は直江大和（朝倉ハオ）の巫力で決まる

例えばハオの巫力100000だったらオシリスの攻撃力も100000になり

無限だったらオシリスの攻撃力も無限に上昇する。（無限にするこ
とは滅多に無い。だが怒りが爆発すると無限にして跡形も無く消す。
）

8

ダークオシリスの天空竜

オシリスの天空竜の黒いバージョンである

このドラゴンは攻撃力は同じだが違うところがある

それはバイクに変形する事が出来るのだ

その姿はff?のフェンリルの姿である

だが欠点はバイクの状態だと攻撃は出来ないところである

ラーの翼神竜

ラーは直江大和と融合して大和に力を与える事が可能

その姿はスピリットオブファイヤの黒雛の金色バージョンと同じ姿である

勿論融合しなくてもラーは攻撃する事が出来る。

此処から数が多いので名前だけにしておきます。

レッドアイズダークネスドラゴン

ブルーアイズシャイニングドラゴン

センコークーラ

ライコーオーイデア

ライコーオーシューマツハ

アメリカ (r y u a k i r a a m e l l i a)

種族 竜人

性別 女性

3サイズ ?????? (調べれば分かります。)

何故ドラゴンがこんなに居るかと言つと

ハオは前世では弱いから仲間を増やして群れているだけだと葉に
言つた事があつた

神様はハオに仲間の大切さを判らせる為にドラゴンが居る

小雪との初めての出会い

俺の名前は直江大和である

何故こんなに偉そうな事を言っているかというと

自分は前世はシャーマンキングの麻倉八才、、、だった

どうやら俺はその麻倉八才の力が宿っている

大和「ふわあゝ、もう朝か。」と自分の布団の隣に人の気配があったので気配がある方を見た

すると

小雪「あ、お兄ちゃんお早う。」と妹である小雪が居た

大和「小雪、何故僕の布団に入っているんだ？」

小雪「だって、お兄ちゃん暖かくて良い匂いするんだもん。」

大和「はあ、小雪そろそろ学校に行く準備しないと遅刻するよ。さあ、起きて。」と言って布団を一瞬で片付けをして学校に行く準備をした

小雪side

今から2年前私の名前は榊原小雪、、、だった

何故だったかという自分兄である大和に出会うまでは自分の本当の母に虐待をされていた

母「小雪！さつさと後片付けをしなさい！」とオモチャを散らかしている母が怒って小雪を殴った

小雪「い、痛い！ママ、痛いよ。」

母「ふん！あなたなんて生きている価値なんて無いのよ。今日もご飯抜きだからね。あなたなんか食べさせる物なんて無い。」と言って去って行った

小雪はオモチャを片付けた後外に出かけた

既に外は夜だった

小雪は夜の公園で一人で遊んでいた

小雪「はあ、今日もご飯抜きか、これで一週間ご飯抜きだよ。お腹空いたな。」とお腹をさすっていた

すると

男性A「ねえ君、そこで何しているの？俺達と遊ばない？」

男性B「君、結構美人だからさ、俺達とさ良い所行かない？」とナンパしてきた

小雪「悪いけど、好みじゃないので結構です。」と言った

すると

男二人は無理やり小雪を引っ張った

小雪「い、痛い！は、離して！」と暴れたが男の力に敵うはずも無かった

小雪はもう駄目だと想い目を閉じた

だが

?????「お前、その少女に何をする気だ？」と男性の声が聞こえてきた

小雪はその男性の姿を見た

見た目は超が付くほどのイケメンだった

男性A「ああん？なんだ、てめえは？」

?????「もう一度言う、その少女に何をする気だ？」と言った

男性A「は！何をするって、その少女を良い所に連れて行くんだよ。だから、邪魔すんなよ。」と攻撃をしたが謎の男性の方がスピードが速く攻撃を避けた

すると

その男性がこう言った

?????「ちつちええな。」と言った後男性Aにボディーブローを食らわせ気絶させたのだ

男性B「あ、兄貴！貴様よくも兄貴を！」と攻撃をしたがやはり攻撃が効かずボディーブローを食らわせ気絶させた

????? 「ふん、お前の攻撃なんて僕に当たるとでも思ったの？」
と気絶している男性達に言った

????? 「君、大丈夫？何もされなかった？」と言った

小雪「は、はい！大丈夫です。」と言った時だった

グウウウウ

お腹の音がなった

小雪「あ／／／／。」と小雪は恥ずかしいのか顔が真っ赤になった

????? 「ははは、お腹が空いているんだね。急いで君の家まで送
ろう。」と言ってFF?のバイク
フェンリルに乗った

小雪はその男性の後ろに行った

運転中は小雪が自分の家の案内をした

そのとき

謎の男性が聞いてきた

????? 「僕の名前は直江大和っていうんだ。君の名前はなんて言う
んだい？」と言ってきた

小雪「僕の名前は榊原小雪。」と答えた

大和「へえ、榊原小雪ちゃんか、良い名前だね。」と笑顔で言った

小雪は驚いた

母親にも良い名前だよと言われた事がなかった

しかしこの直江大和という男性は良い名前だと言ってくれた

それだけでも嬉しかった

暫く経つと自分の家が見えてきた

小雪「あ、あそこです。」と指差した。

大和「あそこの家ね。」と言いその家の入り口まで送った

小雪はバイクから降りお礼を言った

小雪「今日は本当に有難うございます。」

大和「いやいや、礼など必要ないよ。じゃあ、僕はこれで。」とフ
エンリルのエンジンを吹かし去って行った

だが大和は見た

小雪の体にあざがあったことに。

大和「うん。」と唸っていた

すると

????? 「どうしたのです、マスター？」と謎の声が聞こえてきた

声の主は

な、なんとバイクからである

大和「ああ、フェンリルか。あの榊原小雪という少女の体にあざがあった。それがちよつと気になってね。」

フェンリル「そうですか。どうします、もう一度小雪の家に戻りますか？」

大和「うん、そうだね。戻ってその事聞いて見よう。」と言いフェンリルを小雪の家の方角に戻して行った

その頃

小雪はと言つと

小雪「ただいま。」と言つた

すると

母「小雪！こんな時間何処に行つてたの！この馬鹿娘が！」と棒で思いつきり叩いた

小雪「痛い！私は何処に行つてたのか別に良いじゃない！もう、お母さんなんて私のお母さんじゃない！」と言つた

すると

母「小雪！なんて酷い事を言うの！あんたなんて死ねばいいのよ！」
と包丁を取り出し本気で殺そうとした

小雪は何とか回避しているが

体力が続かずもう回避する事が出来なくなった

母「さあぐて、此処までね。さあ、死ぬが良い！」と包丁を力を入れて刺そうとした

とその時だった！

バリ
ンッ

家の入り口のドアが破壊された音だった

母「だ、誰！」と言った

するとフェンリルに乗った直江大和が居た

大和「大丈夫かい、小雪！」と言った

小雪「う、うん！」と涙を流しながら言った

母「お前は何者だ！」

大和「僕は直江大和だ。自分の娘を殺害するなんて最低な母親だな。小雪、フェンリルに乗って。」と小雪をフェンリルに乗せ去って行った

だが大和は怒りが爆発しているのか

小雪の家の上にはオシリスの天空竜を待機させていた

この時

直江大和の巫力は無限に上昇している

よってオシリスの攻撃力も無限に上昇している

大和「オシリスよ、小雪を殺そうとしている母親を容赦せず殺せ。」
と言って自分はフェンリルに乗ってその場から去って行った

そして

オシリスの天空竜の攻撃であるサンダーフォースによって

榊原小雪の家が跡形も無く消滅した

勿論、母親も

大和はバイクから降り小雪の手当てをした

大和「大丈夫かい？」

小雪「うん、大丈夫。でも、何で僕が苛められているって解ったの？」

大和「小雪の手のあざだよ。あざで苛められていると解ったんだ。、
、、、その小雪。」

小雪「何？」

大和「君は僕が憎く無いかい？君の母を跡形も無く消滅させた事を。」と気になっていた事を言った

すると

小雪「ううん、憎くないよ。僕は憎くないよ。寧ろこれで良かったと思っっているよ。」

大和「そうか、、、小雪、僕は今島津寮に居るんだけど君はどうだい？それと、小雪が良ければいいんだけど僕の妹にならないか。僕は君を小雪を大切にするよ。」と言った

すると

小雪は涙を流し大和に抱きついた

小雪「うん！僕、僕、大和君の妹になるよ。」と大粒の涙を流しながら言った

これが榊原から直江になったのだった

風間ファミリー紹介 前編

大和「オッホン、今日は島津寮に住んでいる人や川神院の人や川神学園の事を紹介するね。」

黛「あ！お早うございます、小雪さん、大和さん。」と料理担当の黛由紀江が言った

大和「ああ、お早う。まゆっち。」
小雪「お早う。」と挨拶をした

この女性の名前は黛由紀江

風間ファミリーの一員で中々の美人である

更に

あの川神四天王の一人でもある

そして

少し面白い子でもある

何故なら

黛「お待たせしました。」と料理を二人のもとに置いた

そして

松風「へい、今日は卵焼きときんぴら牛蒡だぜ。」と携帯のストラップの松風が言った

本人は腹話術ではないと言っているけど

完全に腹話術である

でも最大の欠点はいつも刀を持っているせいか友達は今の所0である

初めて会ったとき

強さや優しい事をしてくれたり

自分が悲しい事があった時は励ましてくれた事で黛由紀江は自分に惚れていると告白もあった時もあった

すると

岳人「ちーす、おはよう、小雪ちゃん、大和、まゆっち。」とタンクトップの男が挨拶をした

大和「ああ、お早う岳人。」

小雪「おはよう。」

黛「お早うございます、食事ができましたのでどうぞ席に座ってください。」と言った

この男の名前は島津岳人

風間ファミリーの一員で顔はイケメンとは行かないが仲間想いで仲間が傷ついたら本気で切れる

力は女性陣には敵わないがそこら辺の男だったら倒す事が出来るだろう

だが唯一の弱点は

筋肉が凄く女性人からは頼もしいけど通り過ぎて怖いとか壊れそうと言われまったくモテナイ。

更にキモ四天王の一人でもある

はあ

人間って何故顔で判断するんだろう

そして

次起きてきたのは

京「もう！直江君起きるの早い！私がいつも起こしに行くとき既に起きてるなんて。」と言った

大和「はは、まあ、早起きには自信があるんだ。」と笑った

この子の名前は椎名京

この子も風間ファミリーの一員で武器は弓矢をやる

結構美人で胸もそこそこある。

だが

悲しい過去がある

風間ファミリーに入る前

自分をまるで黴菌扱いされて苛められていた

それを見た風間ファミリーは仲間にならないかと言って苛めが無くなった

島津寮に初めて来た時自分と出会い優しく接触したり話をしたりした

その成果なのか京が僕に一目惚れしたと告白してきた事があって

友達で居ないかと言っているが諦めず積極的にキスをしようとしたが

小雪にいつも止められる

そのせいで小雪と京はすぐに喧嘩をする

京「私、大和君の隣」と言って大和の隣の席で食事を取った

そして食事後

川神学園に登校した

すると

丸子橋

通称変態橋に人々が倒れていた

理由は簡単

その理由は

百代「お〜！皆お早う！」と笑顔でこっちに手を振った

この女性の名前は川神百代

風間ファミリーの一員で胸は90という巨乳を持っている

そして更にこの女性は川神四天皇の一人でもある

闘いが大好きで強い人と戦いたいと願っているけど

中々現れないと本人曰くそれを気にしている

常に最強である

百代「お〜！や〜ま〜と、私とまた戦わないか？お前じゃないとつまらないぞ。」

大和「あのねえ、今は期末テストが有るでしょう。それに学長に僕と勝負は控えているでしょ。」と言った

そう二人の対決は凄い危険である

始めて会ったとき

自分の気のオーラが強い事が判り戦いが始まった

戦いの痕は必ず結界すら無意味で建物が崩壊してしまつほどであつて川神鉄心の許可を取らなければ戦えない状態でも有る

そして

戦いの成績は

百代

大和対決の成績

32戦0勝32敗で勝つたことが一度も無い

百代は悔しいが楽しい事も有る

やっと自分を満たしてくれる人を見つけたのだ

更に

百代も京と同じ大和に本気で惚れている

勿論強いからではない

勉強を教えてくれたり料理を教えてくれたり自分に修行をしてくれた事をしてくれた内に

百代は大和が居ないと生きていけない状態になったのだ

大和「それにしても結構強くなったね。」

百代「まあな、でもまだお前の方が強い。」

大和「百代、力が全てとは言わない。自分が暴走にならないように気をつけてね。」と笑顔で言った

百代「う、うん、解った／＼／＼。」「と顔を真っ赤にしながら言
った

大和の笑顔は反則レベルである

一瞬で虜になってしまう程である

そして

後から

一子「皆、おはよう！」とタイヤ3つを引きながら走ってきた

この子の名前は川神一子

百代の妹である

将来の夢は川神院の師範代になる事である

だけど

少し冷たい事を言うけど

正直今は師範代になる才能は無いと思う

けど

時々僕が修行させて前よりも数倍アップしている

どんどんと強くなれば師範代の夢は叶うと思う。

がんばれ一子

一子「大和、お早う。そのさ、期末が終わった後さ、修行して欲しいんだけど良い？」と言って来た

大和「うん、良いよ。」

一子「やった〜！大和大好き！」と笑顔で言った

小雪「むう〜！お兄ちゃんは渡さないんだから。」と嫉妬の炎が出た状態の小雪が立っていた

すると

百代も負けずと思っただのか

百代「大和！そ、その私も修行させて欲しいんだけど良い？」

大和「うん、良いよ。一緒に修行してあげるよ。」

百代「わ〜い！大和大好き！」と抱きつき頬にキスをした

大和「百代／＼／＼！」と顔を真っ赤にしながら言った

百代「大好きだぞ、大和。」と頬擦りしながら言った

それを見た一子や京&小雪&黛も大和に抱きついてきた

完全にハーレムである

そして後から

師岡「皆、お早う」と言った

この男の名前は師岡卓也

得意物はPCでツッコミ役でもある

大和「まだ、風間ファミリーは居るけどこの続きは後編ね。」と言った

風間ファミリー紹介後編&学園生徒&先生紹介前編

大和「やあ、よく来たね。今日は風間ファミリー紹介の後編と川神学園の生徒を紹介するね。」

風間ファミリーは無事川神学園に着いた

大和「じゃあ、僕とは此処でお別れだね。じゃあ授業頑張ってるね。」
と言った

そう

僕は川神学園2年S組みである

そして成績はいつも満点で1位である

京「はあ、私もS組みだったらな。そうしたら大和君と一緒に勉強できるのに。」と言ったが

京だけではない

女性陣全員も思ってる

大和はS組みに入った。

すると

九鬼英雄「お〜！我が友よ、お早う」と挨拶してきた

大和「ああ、お早う。」と言った

この男は九鬼英雄でお金持ちである

そしてあの四天王の一人である九鬼揚羽の弟でもある。

英雄の力は風間ファミリーの女性陣よりかは強くは無いが

政治方面では揚羽を匹敵する。

更に

成績の方は3位であり自分にライバル心を持っている、らしい

そして

今度はメイドも挨拶してきた

忍足あずみ「お早うございます、直江さん。」

大和「ああ、お早う。」と挨拶をした

この女性は忍足あずみである

一番尊敬している九鬼英雄には「デレデレモード」を使うが

それ以外には「通常モード」を使ってくる

通常モードは性格が悪くなる

まるでヤクザである

まあ人間はそれぞれ性格がある事だね

暫く経つと

寝坊したのか着物の姿をした女性が走ってきた

まあ時間はギリギリセーフだけど

不死川「ふう、何とか間に合った。」と席に座り自分の顔を机の前に付けた

この女性は不死川心で九鬼英雄と同じく金持ちである

そして貧乏人を馬鹿にしたり見下したりする

まあ

そのせいで友達はあるに居ないね。

そしてS組みの担任が現れた

宇佐美「あ、皆、お早う。皆も解っていると思うが明日の木曜日
は水着コンテストがある。男性の諸君自分の体に自信がある奴は出
る。そして、勝った者には九鬼財閥から賞金100万円が貰えるぞ。

「

と言った

この男性はS組みの担任である宇佐美 巨人だ

人間学の教師でもある

F組みの担任である小島梅の事が好きだが振られっぱなしでもある
だが宇佐美は諦めようとしな

まあ

頑張れとしか言えないね。

担任が居なくなっ

僕に近づいてくる男が居

その男は

葵「やあ、大和君。貴方は出るのですか？水着コンテストに。」

大和「僕かい？まあ、優勝したら賞金100万だし出て見ようと思
う。」

葵「そうですか、頑張ってください。」

大和「頑張ってくださいって、葵は出ないのかい？」

葵「私ですか？私は自分の体に自信がありませんので辞退します。
と言った

この男は葵冬馬でエレガンテ・クワットロの一人でもある

エレガンテ・クワットロといのはイケメン四天王の事だね

まあ

成績面では2位であって自分とはやはりライバル心を持っている

大和「さてと、次の授業は日本史だね。はあ、あのキモい綾小路麻呂の授業か。しんど過ぎ。」と言ったけど成績を落とすたくないし真面目にやるか。

1時間目の授業は日本史

綾小路「おっほほほ！皆の者おはようござる。」と言った

このござるというふざけた事を言っているのは綾小路麻呂である

日本史では殆ど平安時代しかない

不死川心をあたりをひいきているけど皆からはキモいと言われている

まあ

顔が凄くキモいね。

と思っていた時だった

綾小路「こりゃ！直江！麻呂の話聞いていたか！」と注意してきた

大和「ええ、聞いていましたが？」

綾小路「ほう？では話を聞いていたか問題を出す。良いな？」

大和「ええ、どうぞ。」と言った

綾小路「894年遣唐使が廃止されたことによって日本独自の文化

が生まれた。この文化をなんというか答えよ。」と言った
すると

大和「国風文化ですね。」と言った

綾小路「ほう？ちゃんと麻呂の話聞いていたようじゃの。」と言
つて授業を再開した

そして

無事日本史が終わった

大和「まったく、簡単な問題だったな。さてと、次の授業は体育だ
ったな。今日の体育はF組みと一緒にサッカーだったな。さっさと
着替えてグラウンドに行こう。」と言ってグラウンドに男子更衣室に
行った

更衣室に入ると既にF組みが居た

?????「おゝ！大和来たか！」と言った

大和「お前はキャップか。そういえば朝は何処に行ってたんだ？」
キャップ「朝か？俺はな、変態共を一人捕まえると1万円貰えるバ
イトに行ってたんだ。」

大和「よくそんなバイトを引き受けたね。」と言った

この男の名前は風間翔一で風間ファミリーのリーダーでもある

この男もエレガント・クワットロの一人である

だが女性に大人気だが本人は異性に興味が無く

自分は風のように生きると言っている

大和「今日は、サッカーだけど負けないからな。」
風間「ふ！こっちもだぜ！」と言った

学園生徒&先生紹介後編

体操着に着替えた生徒はすぐに校庭に集まった
すると

ルー「着替えた生徒は、こっちに来て準備体操をして。」と言った

この男性はルー師範代である

そして

川神院拳法師範代でもあつて

体育教師でもある

皆が準備体操しているときだった

百代「大和〜〜！頑張つて！」

黛「大和さん、頑張ってください！」と言った

大和「百代、まゆつち。って授業はどうしたの？」

百代「私の授業は自習だ。だから、平気だ。」

黛「私もです。」とブイサインを出した

大和「はあ、一応頑張るけど邪魔するのはやめてね。」と言って準備体操をした

準備体操が終わった後

自分の守備を決めた

F 組みチーム

G K 島津 岳人

D F 熊飼 満 風間 翔一

F W 福本 郁郎 大串 スグル

M F 椎名 京 師岡 卓也

S 組チーム

G K 九鬼 英雄

D F 井上 準 不死川 心

F W 葵 冬馬 ルー師範代

M F 直江 大和 忍足 あずみ

(S組は生徒が少な過ぎなのでルー師範代が入っている)

ルー「では、ジャンケンで先行を決める。G K同士ジャンケンをしてもらう。」と言って九鬼英雄と島津岳人が出てきてジャンケンをした

結果は

S組の勝利だった

ルー「では、S組の先行で開始します。では、始め〜〜!」と笛を吹いて始まった

忍足「じゃあ、行くぞ大和。私の邪魔をするなよ?」

大和「安心してよ。僕はこういうの得意なんだ。」と言ってボールを蹴った

大和と忍足だけで相手のMFやFWを回避していった

そして

DFの熊飼と風間が一番の問題だった

風間「大和、忍足、流石に此処は通さないぞ。」

熊飼「必ず、二人を止めてみせる!」と止める気満々だった

大和「あずみ、僕にボールを貸して。」

忍足「?何か策でもあるのか?」

大和「うん。」

忍足「わかった。お前を信じるぜ。」と大和にボールを渡した

大和はそのボールをリフティングをした

大和「ふふ〜ん ふふ〜ん」と何回もやっている相手から

風間「おい、大和。何時までそうしているつもりなんだ?」と言った直後だった

大和はボールを自分の真上に蹴っ飛ばした

大和「さて、行くよ？」と大和はおもつきりジャンプした

そして

上空にあるボールをオーバーヘッドキックをした

大和が蹴っ飛ばしたボールがゴールに向かっていく

大和から相手のゴールから約8mもあるが上手く入るかどうが

島津「な、何！そこからシュートだと！ふん、止めて見せるぜ！」
とボールを止める気満々だった

そして

上手く止めた

だが

ボールの威力が強くて岳人ごと

なんとゴールに入ってしまったのだ

ルー「ゴ、ゴール！S組み先制ゴール！」と言った

それを見た女性陣はというと

椎名「はあん、流石直江君、カツコイイです。」

一子「流石、大和君、かつこいいわ。」

小雪「流石お兄ちゃん、素敵です。」

百代「流石、未来の旦那様だ。凄くカツコいいぞ！」

黛「あゝ、未来の旦那様って何故、百先輩の旦那様になっているのですか？」

百代「それは、運命だって事だ。」と惚れ惚れしながら言った

黛「百先輩ばかりずるいです。私も大和さんを自分の旦那様にするのです！」

百代「大和は渡さないぞ！」

黛「私だって！」とバチバチと火花が出ていた

そして

S組みはその一点を無事守り抜き勝利したのであった

大和「どうにか勝ったな。」と言って男子更衣室に戻ろうとした

すると

忍足「お、おい、直江！」と忍足が大和を止めた

大和「君は、忍足あずみか。どうしたんだい？」

忍足「きよ、今日のお前、凄く、か、かつこ良かったぞ。また、サッカーのときは宜しく頼むぞ。」と言って恥ずかしながら去って言った

うゝん

忍足あずみ

どうしたんだろう

まさか

僕に好意を持つようになったのか？

いや

まさかね

あずみは九鬼英雄のメイドで

英雄の事が好きはず

大和「さて、着替えてとつと下校するかな。」と言った

今日は2時間で終わりなのだ

川神学園は期末テストが1ヶ月前になると2時間で終わって

あとは自宅で勉強をするのだ

まあ

勉強もせず遊んでいる者もいるけど

着替えを終え下校するときだった

井上「お〜い！直江、ちよつと良いか？」

大和「お前は、井上準か。」と言った

この男は井上準だ

更にロリコンでもある

井上「聞いたか？S組みにな新しい生徒が来るんだぜ。しかも軍人の。」

大和「軍人？何処からだ？」

井上「話によるとドイツのリューベックから来るらしい。しかもF組みにその軍人のお嬢様も来るらしい、F組みに。」と言った

大和「ふ〜ん、それで何時来るんだ？」

井上「話によると夏休みが終わった後のようだぜ。」

大和「そうか、楽しみだね。」

井上「ああ。」と言って去って行った

大和「さてと、今夜はコートピアを売っている奴等をボコボコにしますかな。なあ？お前達。」と言った

すると

大和の後ろにドラゴン達が居た

ドラゴン達も微笑みながら大和にくっ付いた。

板垣三姉妹を救え

川神市の真夜中

皆が夢を見ている時間

外では悲鳴のような声が出ていた

男「ひ、ひい！ゆ、ゆ、許してくれ〜！お、俺はただ頼まれただけなんだ。だから許してくれ！」と命拾いをしていた

大和「頼まれたただけだと！ユートピアという薬は危険すぎて最悪な場合死に至る事になるんだよ。で、誰に頼まれた？言えば命までは取らないよ。もし、言わなければ僕の後ろに居る君の仲間みたいに容赦なくボコボコにするよ？」と言った

そう

大和が夜

ユートピアという薬を売っている場所を特定し

売っている奴等と思われる人間を30人ぐらいボコボコにしたのだ

だが

殺していない

両腕両足を骨折させ暫く動けなくさせたのだ

男「な、名前は知らない！ほ、本当だ。あ、でもマロードと言っている者も居る。」

大和「マロードだって。どんな奴だ？」

男「す、素顔は仮面で隠していて顔は解らない。」

大和「で、仲間はもつと居るのかい？」と聞いてみた

すると

男「板垣三姉妹や外国から強い人間を集めユートピアを売っている。最低でも外国人だけでも300人は居るだろう。」と言った

大和「そうか、わかった。君は眠るがいい。」とボディーブローを軽くさせ気絶させた

大和「板垣三姉妹か。オシリス、聞いたことがあるか？」と言った
すると

何も無かった場所にドラゴンが現れた

オシリス「板垣三姉妹ですか？はい、聞いたことがあります。まず板垣 亜巳という女性は男を苛めるのが大好きでよく川神市で男を犬みたいに首輪をさせ散歩しております。武器は棒で何人も傷つけています。そして次に板垣辰子は戦いよりも寝るのが大好きです。しかし、バス停を持てば力だけなら川神百代を超えています。そして、次に板垣天使はゲームが大好きでよくゲームセンターで遊んでいます。そして戦闘するときはまるでゲームみたいに相手をボコボコにします。武器はゴルフバットです。最後は板垣竜平は、BLでよく勝負に負けた男子を犯しまくっております。武器は拳だけです。

それが板垣三姉妹の情報です。ですが、板垣三姉妹は本当は悪気があってやっているのではございませぬ。マロードという人間に脅されているだけです」と言った

大和「脅されているって、マロードにか？何を脅されているんだ？」
オシリス「其処まではわかりませぬ。ですが、脅されているのは確かです。」

大和「ふ〜ん、脅しねえ。で、その産姉妹は今何処にいる？」と聞いてみた

オシリス「待つてください。、え〜っと、」と上空を飛んで行った
すると

オシリス「はい。現在居るのは丸子橋（通称変態橋）で薬を売りまくっております。どうします？何時ものようにボコボコにしますか？」と戦闘態勢に入った

大和「いや、ボコボコにするのではなく何を脅されているのかを聞いてみよう。その理由を解れば良いよ。」

オシリス「救うのですか？、、そうですね、彼らもきつとそれを望んでいますね。」

大和「よし、行くぞ！」とオシリスの背中に乗り彼らが居る場所に行った

丸子橋

竜平「へ！今日は18万8千円か。まあまあな成果だな。なあ、姉貴、天使？」と聞いてみた

天使「、、、なあ、竜。」

竜平「ん？どうした天使。」

天使「もう、こういうの止めた方がいいと思う。」と言った

竜平「天使。」

辰子「竜、私も同じだよ。もう、悪い事なんてしたくない。」

竜平「辰姉。」

亜巳「竜、マロードに言ってみよう。私達はやりたくないって。」
と言った

すると

竜平「俺だってこんなをしたくないと思うぜ。けどな、売らなければ、俺達の、、、。」と何かを言おうとした瞬間上空から人が現れた

大和「君達が板垣三姉妹だね。」と言い板垣三姉妹の目の前に来た

竜平「ああん？そうだがお前は誰だ？」

大和「僕は直江大和だ。君達はどうしてユートピアを売っているんだい？本当はやりたくないって思っているんじゃないのかい。そして、マロードに脅されているんじゃないのかい？」と言った

竜平「お前！な、何故それを！」

大和「僕の仲間がねそう言ったんだ脅されているってね。」と後ろに居るオシリスを見せた

竜平「ドラゴン！」

大和「さて、何を脅されているんだい？僕に聞いてみてよ。僕に聞いてみたら何か力になれると思うからさ。」と言った

すると

辰子「本当に言えば力になってくれる？」

大和「ええ、力になりましょう。」

辰子「私達の家族の首に時限爆弾があつてもし、命令を従わないと殺すつて脅されているのです。」と涙を流しながら言った

大和「時限爆弾！君達の親は今何処にいるんだい？」

天使「俺達の家いだ。」

大和「じゃあ、案内してくれる？」

天使「取ってくれるのか！」

大和「うん、やってみるよ。さあ、オシリスに乗って」と言つてドラゴンの背中に乗つて行つた

天使が案内していると

遂に見えてきた

天使「あそこだ。」

大和「あそこね。」と言つてオシリスをその家の上空に止め待機させた

そして

自分達は家の中に入った

すると

夫婦と思われる男女が居た

だが

その二人の首には爆弾みたいなものが付けられていた

大和「これが爆弾だね？付けられて何年になるの？」と夫婦に聞いてみた

夫「は、はい。えっと、もう、3年になります。食事や睡眠は出来るのですが外に行く事が出来ないのです。」と言った

大和「ふうん、外に行けば爆発するんだね。じゃあ、この家で爆弾処理をしよう。」と言った

天使「ば、爆弾処理って、お前出来るのか！」

大和「まあね。まあ、そこで見てて。」と言って二人の爆弾に手を付けて爆弾処理をした

10分後

カチャカチャ、カチャカチャ、

カチャカチャ、ポトツ

爆弾が床に落ちた音がした

大和「まず、奥さんの爆弾は外れたよ。勿論、外に行っても爆発はしない。」と言って爆弾を手にとって破壊した

すると

天使「ママ〜〜〜！」

辰子「ママ〜〜〜！」

亜巳「母さん、本当に良かった。」

竜平「お袋〜〜〜！」と全員涙を流しながら母に抱きついた

妻「天使、辰子、亜巳、竜平、寂しい思いさせてごめんね。」と抱き返した

大和「さてと、後は親父さんの番だね。」と男の首にある爆弾に手を付けた

そして

爆弾を外した後

その爆弾を破壊した

大和「これで、君達は自由だよ。あと、そうそう、此処を早く離れた方が良く。離れないとまたマロードという奴に付けられるから。」と言った

夫「そうですね、判りました。私達は実家に戻ります。実家に行けばマロードが来ませんし。」

大和「じゃあ、僕はこれで失礼します。あ、そうそう三姉妹の皆、もう悪さしないでね？悪さなんてしたら家族が悲しむから。」と言ってオシリスに乗ろうとした

すると

竜平「待て！」と竜平が止めた

大和「なんだい？」と後ろを見た

竜平「お前はマロードという奴を探しているのか？」と聞いてきた

大和「まあ、そうだね。あいつが元々の元凶だし。」

竜平「なら、教えてやるぜ。マロードは一人だけ結構強いぜ。俺達板垣三姉妹でも勝てなかった。そしてマロードの後ろには九鬼家から盗んだ最新鋭のロボット、サイコクッキー1000体が存在している。俺達は実家に戻るが俺達の力が必要になったら電話しろ。すぐに向かうからな。」と電話番号が書いてある紙を渡した

大和「わかった。じゃあ、僕はこれで失礼するよ。家族を大切にしろよ。」と言ってオシリスと共に去って行った

夫「竜平、あの子は一体誰なんだい？」

竜平「あいつは直江大和っていうんだ。」

夫「そうか。良い子に出会えたな。ってどうしたんだ？辰子、天使、亜巳？」と言った

すると

3人の美女が顔を真っ赤になって

こう言ったのだ

辰子&亜巳&天使「はあん！凄くカッコイイ（ぜ！）！大和君。」
と大和に一目惚れした3人が居た

去って行った大和は

大和「ブルツ。」

オシリス「どうかいたしましたか？」

大和「い、いや、何か凄く寒気が。」

オシリス「風邪ですか？今日は此処までにして家に帰りましょう。」

大和「そうだな。」と言って島津寮に戻って行った

マロード？「ほう、あれが直江大和という奴か。まさか板垣三姉妹の夫婦の首にあった爆弾を外すなんてね。まあ、良いや。どうせ、板垣家の実家は、もう。くくく。」と笑いながら闇の中に消えて行ったのであった

板垣三姉妹を救え（後書き）

大和「やあ、皆。僕はこの世界の主人公でもあつて最強の男、直江大和だよ。」

作者（朱雀）「僕は作者の朱雀です。」

大和「はあ。」

作者（朱雀）「どうしたんだい？そんなに悩んで。」

大和「ドラゴン達にも人間モードになって主である僕とラブラブのシーンを作った方が良いのか、悩んでいるんだ。」

作者（朱雀）「ふ〜ん、じゃあさ読んでいる人に聞いてみよう。」

大和「そうだね。皆、ドラゴン達の擬人化姿も作って僕とラブラブシーンを作った方が良いか教えてくれ。」

作った方が良い

作らないほうが良い

その他

（多かつたほうにします。）

マロードの能力紹介

大和「今日はね、。。」と話をしようとした

そのとき

マロード? 「大和君、今日は僕の能力の事を言わせて貰うね。」と謎の男が言った

大和「誰だ、お前は?」

マロード? 「ふふふ、僕は、マロードだよ。」

大和「お前がマロードか! 此処で成敗する!」と刀を抜き倒そうとしたが回避された

大和「な、何! 僕の攻撃を回避しただと!、ふん、お前は中々やるじゃないか。」

マロード「まあね。さて、僕の事を説明させてもらっね。」と言った

マロード(葵冬馬ではない。この男もハオと同様生まれ変わりである。)

性別 男

武器 刀

好きな物 カレーうどん

趣味 音楽鑑賞

攻撃力 八才と同じ力を持つ

防御力 //

持ち霊 阿弥陀丸

阿弥陀丸という阿弥陀丸にそっくりな持ち霊を持ち

川神市にユートピアという薬をばら撒きこの世界を自分だけの物にしようとする。

そして

麻倉八才の生まれ変わりが直江大和という事は知っている。

オシリスとラーの翼神竜達の擬人化モード紹介

オシリスの天空竜

性別 女性

年齢 18歳

3サイズ B103 / W54 / H88

髪 赤い長髪

髪型 ストレート

顔 誰でも一目惚れしてしまうほどの美しさ

身長 173cm

武器 サンダーソード（その名前の通り雷属性の武器で能力は切られた者は瞬間回復が出来ず暫くマヒ状態にさせることが可能。）

技

技は無いが武器を振るうスピードが物凄く早く

誰も回避出来ないので全てはスピードのみで十分なのである。

ラーの翼神竜

性別 女性

年齢 19歳

3サイズ B104 / W55 / H87

髪 金髪の女性で腰以上にもある髪をしている

髪型 ストレート

顔 オシリスと一緒に絶世の美女である

身長 174cm

武器 拳

技

ゴッドフェニックス（人間モードでも出来る。威力はドラゴンの時より低下するが防御不能の技でこれを食らった者は一瞬で倒れてしまふのだ。）

レッドアイズダークネスドラゴン

性別 女性

年齢 18歳

身長 172cm

3サイズ B102/W54/H88

髪 黒い長髪

髪型 ポニーテール

顔 絶世の美女

武器 ダークネスソード（この武器は名の通り闇属性の武器で光属性のモンスターすら一撃で倒してしまうというありえない能力を持っている）

ブルーアイズシャイニングドラゴン

性別 女性

年齢 18

身長 172cm

3サイズ B101/W56/H88

髪 銀色の長髪

髪型 ストレート

顔 絶世

武器 拳

センコークーラ

性別 女性

年齢 21

身長 175cm

3サイズ B110/W54/H88

髪 黒い長髪

髪型 ポニーテール

顔 絶世

武器 シンセイバー

ライコーオーイデア

性別 女性

年齢 20

身長 173cm

3サイズ B108/W55/H88

髪 水色の髪の長髪

髪型 ストレート

顔 絶世

武器 拳

ライコーオーシューマツハ

性別 女性

年齢 21

身長 176

3サイズ B109/W55/H88

髪 青色の長髪

髪型 ストレート

顔 絶世

武器 拳

アメリカ

性別 女性

年齢 23

身長 178cm

3サイズ B107/W55/H88

髪 紫色の長髪

髪型 ストレート

顔 絶世

武器 拳

ドラゴン達はご主人である直江大和（麻倉八才）の事を心から愛して
いて
誰にも渡したくないと思っている。

オシリスとラーの翼神竜達の擬人化モード紹介（後書き）

大和「やあ、久しぶりの更新だよ。、でも、擬人化の物語をするのは今回で初めてだから下手糞になっちゃった。、次回からはちゃんとするからね。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8358p/>

朝倉八才が直江大和に転生した。

2011年2月7日07時14分発行